



平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年1月31日

上場会社名 朝日放送株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 9405 URL <http://asahi.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 脇阪 聡史  
 問合せ先責任者 (役職名) 経理局長 (氏名) 角田 正人 TEL 06-6458-5321  
 四半期報告書提出予定日 平成26年2月7日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	61,055	3.2	3,897	△10.6	4,055	△8.9	2,192	7.6
25年3月期第3四半期	59,145	1.6	4,357	35.2	4,452	29.4	2,037	73.5

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 3,007百万円(43.1%) 25年3月期第3四半期 2,101百万円(62.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	53.70	—
25年3月期第3四半期	49.89	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第3四半期	94,880	62,531	62.0
25年3月期	93,986	60,145	60.1

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 58,782百万円 25年3月期 56,495百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	4.50	—	7.50	12.00
26年3月期	—	6.00	—		
26年3月期(予想)				6.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

25年3月期期末配当金の内訳 普通配当 4円50銭 特別配当 3円00銭

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	80,600	2.2	5,400	△6.1	5,600	△3.8	3,000	8.1	73.46

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規—社(社名)—、除外—社(社名)—
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期3Q	41,833,000株	25年3月期	41,833,000株
26年3月期3Q	996,087株	25年3月期	996,087株
26年3月期3Q	40,836,913株	25年3月期3Q	40,836,913株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(参考) 平成26年3月期の個別業績予想 (平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	65,800	1.6	4,000	△6.0	4,200	△4.5	2,500	9.3	61.22

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 : 有

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
（1）経営成績に関する説明	2
（2）財政状態に関する説明	3
（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
（1）四半期連結貸借対照表	4
（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
4. (参考) 四半期財務諸表(個別)の概要	9
（1）個別経営成績	9
（2）個別財政状態	9
（3）個別売上高の内訳	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(平成25年4月1日から、平成25年12月31日まで)の日本経済は、政府の経済・金融政策により円安・株高が続き、大企業を中心とした企業収益や雇用環境の改善などもあり、個人消費の持ち直しが見られるなど緩やかな回復基調となりました。広告業界においても、大阪地区のテレビスポット広告の出稿量が前年同期を少し上回るなど回復傾向が見られました。

このような経済状況の中、当社グループが主力事業を展開する放送事業においては、テレビスポット収入や催物収入が前年同期の実績よりも増えましたが、費用の増加が増収分を上回った結果、増収減益となりました。ハウジング事業においては、新たな住宅展示場や住宅設備関連の展示場がオープンし、増収増益となりました。ゴルフ事業においては、来場者数の増加や、会員権の販売が好調に推移したことにより増収増益となりました。以上の結果、当第3四半期連結累計期間における当社グループの売上高は610億5千5百万円となり、前年同期に比べて19億9百万円(3.2%)の増収となりました。

一方、費用面では売上原価が397億2千5百万円で、前年同期に比べて21億6千万円(5.8%)増加しました。販売費及び一般管理費については174億3千2百万円となり、前年同期に比べて2億8百万円(1.2%)増加しました。以上の結果、営業利益は38億9千7百万円となり、前年同期に比べて4億6千万円(△10.6%)の減益、経常利益は40億5千5百万円で3億9千7百万円(△8.9%)の減益となりました。法人税等を差し引いた結果、四半期純利益は21億9千2百万円となり、前年同期に比べて1億5千5百万円(7.6%)の増益となりました。セグメントごとの業績は、以下のとおりです。

## [放送事業]

当第3四半期連結累計期間における放送事業の売上高は529億2千万円となり、前年同期に比べ13億4百万円(2.5%)の増収となりました。ネットタイム収入や主力のテレビスポット収入の増収に加えて、催物収入が大幅な増収となったことが大きな要因です。一方、営業費用は、ネットタイムやスポットの増収に伴いテレビ番組費やテレビ代理店手数料などが増え、さらに催物収入の増収に伴い催物費が増えて前年同期に比べ3.8%増加しました。この結果、営業利益は28億2千8百万円となり、前年同期に比べて5億6千2百万円(△16.6%)の減益となりました。

## [ハウジング事業]

ハウジング事業の売上高は73億8千4百万円となり、前年同期に比べ5億3千万円(7.7%)の増収となりました。主力事業の住宅展示場運営において、首都圏での新しい住宅展示場(戸塚住宅公園)や新たな住宅設備関連の展示場(HDC大阪)がオープンしたことなどにより増収となりました。一方、営業費用は8.2%増加し、営業利益は9億5千6百万円となり、前年同期に比べて4千1百万円(4.6%)の増益となりました。

## [ゴルフ事業]

ゴルフ事業の売上高は7億5千万円となり、前年同期に比べ7千4百万円(11.0%)の増収となりました。来場者数の増加や、会員権の販売が好調に推移したことが主な要因です。一方、営業費用は売上高の増加に伴い2.6%増加し、営業利益は1億1千2百万円となり、前年同期に比べ6千万円(116.0%)の増益となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産)

当第3四半期連結会計期間末の流動資産は、前連結会計年度末に比べ16億5千7百万円減少して327億2千7百万円となり、固定資産は25億5千1百万円増加して621億5千2百万円となりました。資産合計は8億9千4百万円増加して948億8千万円となりました。固定資産の増加は、主に投資有価証券の購入や保有する投資有価証券の時価が上昇したことなどによるものです。

## (負債)

流動負債は8億2千9百万円減少して103億7千2百万円となり、固定負債は6億6千2百万円減少して219億7千5百万円となりました。負債合計は14億9千2百万円減少して323億4千8百万円となりました。負債が減少した主な理由は、未払金の支払いやリース料の支払いを行ったことなどによるものです。

## (純資産)

純資産合計は23億8千6百万円増加し、625億3千1百万円となりました。四半期純利益21億9千2百万円を計上する一方、剰余金の配当5億5千1百万円を行いました。また、保有する投資有価証券の時価が上昇したため、その他有価証券評価差額金が増加しました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社の主力である放送事業は、第3四半期において大型の音楽イベント開催などにより売上が増加し、これにともなって、営業利益、経常利益とも前回の予想を上回りました。また、ハウジング事業においても住宅展示場の新規オープンなどにより売上高、営業利益、経常利益が前回の予想を上回ったため、連結の通期業績につきましては、当期純利益のみ前回発表予想の通りとし、売上高、営業利益、経常利益を上方修正いたしました。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

## (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

## (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

## (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	9,862	8,043
受取手形及び売掛金	12,439	12,780
有価証券	9,138	9,498
たな卸資産	941	569
その他	2,037	1,876
貸倒引当金	△34	△40
流動資産合計	34,385	32,727
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	21,248	20,726
土地	10,252	10,253
その他（純額）	7,424	7,161
有形固定資産合計	38,925	38,142
無形固定資産		
ソフトウェア	332	239
その他	219	183
無形固定資産合計	552	423
投資その他の資産		
投資有価証券	13,546	17,055
その他	6,822	6,775
貸倒引当金	△246	△243
投資その他の資産合計	20,122	23,587
固定資産合計	59,600	62,152
資産合計	93,986	94,880

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
未払金	6,306	5,234
未払法人税等	661	551
引当金	173	637
その他	4,061	3,949
流動負債合計	11,202	10,372
固定負債		
退職給付引当金	11,068	10,887
引当金	14	14
その他	11,555	11,073
固定負債合計	22,638	21,975
負債合計	33,841	32,348
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	5,299	5,299
資本剰余金	3,610	3,610
利益剰余金	46,814	48,456
自己株式	△500	△500
株主資本合計	55,223	56,865
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,271	1,916
その他の包括利益累計額合計	1,271	1,916
少数株主持分	3,649	3,749
純資産合計	60,145	62,531
負債純資産合計	93,986	94,880



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 四半期連結損益計算書  
 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	59,145	61,055
売上原価	37,564	39,725
売上総利益	21,580	21,329
販売費及び一般管理費	17,223	17,432
営業利益	4,357	3,897
営業外収益		
受取利息	25	44
受取配当金	116	158
その他	97	83
営業外収益合計	239	285
営業外費用		
支払利息	102	72
固定資産処分損	26	48
その他	15	7
営業外費用合計	144	128
経常利益	4,452	4,055
特別利益		
投資有価証券売却益	—	4
特別利益合計	—	4
特別損失		
投資有価証券評価損	386	—
投資有価証券売却損	—	9
特別損失合計	386	9
税金等調整前四半期純利益	4,065	4,049
法人税等	1,810	1,690
少数株主損益調整前四半期純利益	2,254	2,359
少数株主利益	217	166
四半期純利益	2,037	2,192

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	2,254	2,359
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△152	648
その他の包括利益合計	△152	648
四半期包括利益	2,101	3,007
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,884	2,837
少数株主に係る四半期包括利益	217	170

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

前第3四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	放送事業	ハウジング 事業	ゴルフ事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	51,615	6,853	676	59,145	—	59,145
セグメント間の 内部売上高又は振替高	290	14	41	346	△346	—
計	51,905	6,868	718	59,492	△346	59,145
セグメント利益	3,390	915	52	4,357	—	4,357

(注) 1 調整額△346百万円は、セグメント間の取引消去金額であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益であります。

当第3四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	放送事業	ハウジング 事業	ゴルフ事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	52,920	7,384	750	61,055	—	61,055
セグメント間の 内部売上高又は振替高	284	16	44	345	△345	—
計	53,205	7,400	795	61,401	△345	61,055
セグメント利益	2,828	956	112	3,897	—	3,897

(注) 1 調整額△345百万円は、セグメント間の取引消去金額であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益であります。

## 4.（参考）四半期財務諸表（個別）の概要

平成26年3月期第3四半期の個別業績（自平成25年4月1日至平成25年12月31日）

## （1）個別経営成績

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	49,651	2.6	2,877	△9.5	3,145	△6.2	1,924	16.3
25年3月期第3四半期	48,396	1.5	3,179	49.9	3,354	49.4	1,655	133.7

## （2）個別財政状態

	総資産	純資産
	百万円	百万円
26年3月期第3四半期	75,752	54,560
25年3月期	75,361	52,548

## （3）個別売上高の内訳

	前第3四半期 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	増減	増減率
	百万円	百万円	百万円	%
テレビ放送事業収入				
タイム	15,456	15,513	57	0.4
スポット	26,452	26,759	307	1.2
番組販売	1,639	1,717	77	4.8
計	43,547	43,989	442	1.0
ラジオ放送事業収入	2,119	2,140	20	1.0
その他	2,729	3,521	792	29.0
合計	48,396	49,651	1,255	2.6

（注）四半期財務諸表（個別）の概要の数値につきましては、法定開示におけるレビュー対象ではありません。